

## 黒河道

この長さ 16 キロメートルの参詣道は、高野山へと続く 7 本のルートのうち、最も短いものの、最も険しい道です。全行程を歩くのには通常およそ 7 時間かかります。橋本駅から数キロの所にある定福寺が起点です。小川のそばと深い森を通る黒河道には数多くの険しい上り坂があります。このルートは長い上りの区間に対応できる経験豊かなハイカーにおすすめです。

黒河道は、高野山の僧にとって不可欠な命綱でした。高野山の伽藍は、急勾配の斜面や寒冷な気候で農作物の栽培が難しい高い山地につくられていました。高野山の人々は、この道を使って米や作物などの生活必需品を運んでくる人夫に頼らなくてはなりませんでした。

黒河道には、市平橋という木のつり橋、小さな滝、数々の仏像や地蔵のような興味深い見どころがあります。道沿いには一定の間隔で標識が設置されています。トイレは数が少なくところどころにしかありません。食料を購入できる場所はないので、十分の食料と水を用意してください。